

『食品ロス』を減らそう！ ～かしこい消費者の責任と行動～

食品ロスとは

まだ食べられるのに、捨てられる食品のことを『食品ロス』といいます。国内外で環境問題が取り上げられ、環境汚染やごみ処理費用の削減を考え、ごみ削減の動きがある中で、食品廃棄物もまた問題視されています。これまでの大量生産、大量販売、大量廃棄という考えは、いまだに企業で引き続き行われている部分がありますが、限られた資源やエネルギーコストの無駄使いです。これからは、企業も消費者も多方面から考え、ごみをなくす、無駄をなくすという観点から、一人ひとりができる取り組みをしていくことが必要ではないでしょうか？

食品ロスの現状と減らす取り組み

日本では、毎日10tトラック約1700台分の食品ロスが発生し、その半分は家庭から発生しています。食品ロスの発生場所は、家庭、食品メーカー、小売店、飲食店、学校給食からもでてきます。

まずは、いつ、何をどのくらい、どんな理由で捨てたか、記録を取ってみましょう。そして、どんな食品をどんな理由で捨ててしまったかを振り返って、減らすためにはどうしたらよいかを考えてみましょう。

家庭で捨てられやすい食品		捨ててしまう理由	
1位	主食（ごはん、パン、麺類）	1位	食べきれなかった
2位	野菜	2位	傷ませてしまった
3位	おかず	3位	賞味・消費期限が切れていた

*消費者庁が行った調査結果より

【食品ロスを減らす作戦①】

- ・買い物に行く前には家にある食材をチェックしてから、行きましょう。
- ・家にある食材を優先的に使うことを考えましょう。
- ・使いきれ的分だけ買うようにしましょう。
- ・人や社会、環境のことも考えて買い物をしましょう。

【食品ロスを減らす作戦②】

- ・調理では、作りすぎない工夫をしましょう。
- ・日を決めて、在庫一掃の日をつくって食べきりましょう。冷蔵庫もすっきりします。
- ・残った料理をリメイクしましょう。
- ・食品は分類して見やすくし、食品保管庫、冷蔵庫内でそれぞれの置く場所を決めて保管しましょう。

◎消費者庁では、食べ物のムダをなくそうプロジェクトと題して、食品ロス削減に向けた情報発信をしていますので、ぜひ活用してください。

消費生活相談のことなら・・・

- 岐阜県県民生活相談センター 058-277-1003
- 輪之内町消費生活相談窓口(住民課) 0584-68-0185
- 消費者ホットライン ☎^{いやや}188